

指定管理者制度導入施設の運営状況（平成30年度）

1. 施設名等

施設名	大分県立総合文化センター(iichiko総合文化センター)	所在地	大分市高砂町2-33
		電話番号	097-533-4000
		ホームページ	http://www.emo.or.jp/
大分県立美術館		所在地	大分市寿町2-1
		電話番号	097-533-4500
		ホームページ	http://www.opam.jp/

2. 指定管理者および県の所管部課（窓口）

指定管理者	名称 所在地 指定期間	公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団 大分市高砂町2-33 平成30年4月1日～令和5年3月31日	県の所管部課 (局・室)	企画振興部芸術文化スポーツ振興課 TEL : 097-506-2057
-------	-------------------	--	-----------------	--

3. 施設の概要

設置年月日	平成10年8月1日	※iichiko総合文化センター
設置根拠	大分県立総合文化センターの設置及び管理に関する条例	
設置目的	文化の創造と享受の場を提供することにより、県民の多様な文化活動を促進し、もって個性ある地域づくりと潤いのある生活の創造に寄与する。	
事業内容	①センターの施設及び設備の利用に関すること。 ②音楽・演劇等芸術文化の鑑賞の機会を提供すること。 ③文化に関する情報を収集し、及び提供すること。 ④その他、センターの目的を達成するために必要な事業	
施設内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ iichikoグランシアタ（大ホール1,966席）</li> <li>・ iichiko音の泉ホール（中ホール 710席）</li> <li>・ iichikoアトリウムプラザ</li> <li>・ リハーサル室・練習室（9室）、映像小ホール、県民ギャラリー、会議室（6室）</li> <li>・ 駐車場（295台）</li> </ul>	
使用料等	※終日利用の料金 ・ iichikoグランシアタ：228,100円～501,800円 ・ iichiko音の泉ホール：99,700円～223,300円 ・ iichikoアトリウムプラザ：5,150円～41,100円 ・ リハーサル室・練習室：3,490円～17,250円、映像小ホール：35,950円、 県民ギャラリー：9,250円～10,800円 ・ 会議室：13,600円～28,900円 ・ 駐車場：最初の30分以内 無料、30分を超え1時間以内 200円、1時間を超え30分ごと 100円、 営業時間外（23時～翌朝8時）※出入庫不可 900円	
閉館日	第2・第4月曜日及び年末年始（12月29日～1月3日）	

設置年月日	平成27年4月1日	※大分県立美術館
設置根拠	大分県立美術館設置及び管理に関する条例	
設置目的	芸術文化創造の拠点として、優れた美術作品の鑑賞及び学習機会を提供するとともに、創作活動及び作品発表等の支援を通じて、県民の感性や創造性を高め、文化を核とした地域力を高めるため。	
事業内容	①美術品及び美術に関する資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。 ②美術品等に関する調査及び研究に関すること。 ③美術に関する情報の収集及び提供に関すること。 ④美術に関する講演会、講座等を開催すること。 ⑤美術館の施設及び設備の利用に関すること。 ⑥学校及び他の美術館、博物館その他の文化施設等との連携に関すること。 ⑦その他、美術館の目的を達成するために必要な事業。	

施設内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1階 展示室A アトリウム ミュージアムショップ モバイルカフェ</li> <li>・ 2階 アトリエ 研修室 体験学習室 カフェ</li> <li>・ 3階 展示室B コレクション展示室</li> <li>・ 屋外駐車場（143台、24時間利用可） 地下駐車場（107台、8時～23時）</li> </ul>
使用料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観覧料（コレクション展）：200円～300円</li> <li>・ 展示室A：9,250円～37,000円（終日）</li> <li>・ 展示室B：9,250円～37,000円（終日）</li> <li>・ アトリウム：4,800円～19,000円（終日）</li> <li>・ 研修室：1,200円（1時間）</li> <li>・ アトリエ：1,200円（1時間）</li> <li>・ 駐車場：最初の30分以内 無料、30分を超え1時間以内 200円、1時間を超え30分ごと 100円、営業時間外（23時～翌朝8時）※出入庫不可 900円</li> </ul>
閉館日	原則として無休（館内点検等のための臨時休館を除く）

4. 目標指標の達成状況  
iichiko総合文化センター

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
ホール年間利用率(%) ※グランシアタと音の泉ホールの 利用率の合計を2で除した数	平成27年度	87.0	85.6	98.4%
	平成28年度	87.0	86.1	99.0%
	平成29年度	87.0	88.0	101.1%
	<b>平成30年度</b>	87.0%	90.9%	104.5%

大分県立美術館

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
来館者数(人)	平成27年度	500,000	642,508	128.5%
	平成28年度	500,000	434,518	86.9%
	平成29年度	500,000	648,223	129.6%
	<b>平成30年度</b>	500,000	572,001	114.4%

5. 施設の利用状況  
iichiko総合文化センター

利用者数(人)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成27年度	22,066	15,599	14,768	19,101	21,228	15,778	
	平成28年度	8,375	15,638	20,574	19,103	23,912	17,755	
	平成29年度	20,101	23,820	15,661	17,837	16,472	19,634	
	<b>平成30年度</b>	<b>16,772</b>	<b>23,339</b>	<b>20,811</b>	<b>20,730</b>	<b>22,469</b>	<b>21,128</b>	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成27年度	22,520	33,206	21,114	13,101	19,518	21,713	239,712
	平成28年度	29,040	25,642	23,389	16,332	13,061	21,041	233,862
	平成29年度	29,734	22,488	23,402	9,992	11,040	25,327	235,508
	<b>平成30年度</b>	<b>18,481</b>	<b>21,667</b>	<b>22,181</b>	<b>9,636</b>	<b>18,468</b>	<b>24,648</b>	<b>240,330</b>

大分県立美術館

利用者数(人)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成27年度	19,275	77,701	94,066	70,289	138,932	44,223	
	平成28年度	17,010	28,863	30,019	33,660	52,939	36,119	
	平成29年度	28,818	39,115	28,048	95,749	188,184	56,172	
	<b>平成30年度</b>	<b>33,564</b>	<b>43,141</b>	<b>32,298</b>	<b>35,142</b>	<b>50,320</b>	<b>43,271</b>	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成27年度	42,233	33,397	29,969	32,437	33,634	26,352	642,508
	平成28年度	48,196	37,045	34,356	45,760	38,857	31,694	434,518
	平成29年度	46,384	32,461	29,779	41,275	33,982	28,256	648,223
	<b>平成30年度</b>	<b>71,402</b>	<b>66,758</b>	<b>41,819</b>	<b>51,133</b>	<b>56,780</b>	<b>46,373</b>	<b>572,001</b>

6. 利用者満足度調査等の実施状況

利用者満足度調査	実施方法	<p>iichiko総合文化センター</p> <p>①施設利用者アンケート(H31年3月実施):668団体(個人を含む)うち242団体回答(回収率36.2%)</p> <p>②自主公演開催時に公演ごとにアンケートを実施</p> <p>③メール(専用アドレス)、電話、FAX、意見箱(館内6か所)による意見の受付</p> <p>大分県立美術館</p> <p>①施設利用者アンケート(H31年3月実施):70団体うち43団体回答(回収率61.4%)</p> <p>②施設来館者アンケート(随時):館内2カ所にアンケート用紙を設置し、随時回収</p>
	実施結果	<p>iichiko総合文化センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設利用満足度については、「大変満足」「ほぼ満足」を合わせると86.4%となり、利用者の満足度は高い。</li> <li>施設を利用する理由として上位にあげられているのが、「立地がよい」「施設・設備が充実」「知名度が高い」「料金が適正」などである。</li> <li>次回以降の再利用意向は「ぜひ使いたい」「使いたい」を合わせると85.6%であり、高い再利用意向を得ている。</li> </ul> <p>大分県立美術館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設利用満足度については、「大変満足」「ほぼ満足」を合わせると90.7%となり、利用者の満足度は高い。</li> <li>施設を利用する理由として上位にあげられているのが、「立地がよい」「知名度が高い」「施設・設備が充実」「サービスが良い」などである</li> <li>次回以降の再利用意向は「ぜひ使いたい」「使いたい」を合わせると88.4%であり、非常に高い再利用意向を得ている。</li> </ul>

利用者等からの主な意見・要望・苦情	左の対応状況
(センター)ホール予約解禁日がよくわからない。	ホール予約解禁日の一覧表を作成。ホームページで確認できるようにした。
(センター)音の泉ホールの一部楽屋が暑い。	空調設備の改修工事を実施した。
(センター)練習室のラジカセやCDプレーヤーが持ち込み機器と合わない。	最新の機器等、多様な利用に対応できるようにラジカセやスピーカーシステムを新しいものに更新した。
(センター)県民ギャラリーの照明が足りない。	スポットライト設備を増設した。
(美術館)展示室内のサインや説明文が分かりにくい。	適宜調整を行った。
(美術館)カフェメニューを増やして欲しい。	企画展と連動した期間限定メニューなど7種類を提供した。
(美術館)クレジットカード決済に対応して欲しい。	クレジットカード決済システムに加え、モバイル決済サービスも導入。キャッシュレス導入をいち早く推進した。

## 7. サービス向上に係る主な取組内容

サービス提供体制の強化	<p>① iichiko総合文化センターと美術館の管理業務に関して、それぞれの施設の特殊性を考慮すべき業務を除き、清掃、駐車場等警備、植栽管理等の業務を一括で発注し、スケールメリットを活かした最適な方法で委託した。</p> <p>② iichiko総合文化センター1階のインフォメーションでは、施設の予約、チケット販売、友の会の入会などiichiko総合文化センターのサービス窓口としてワンストップで対応することはもとより、美術館の企画展の前売券を販売するなど、両施設で連携したサービス提供に努めた。</p> <p>③ iichiko総合文化センターでは大分県立美術館の、大分県立美術館ではiichiko総合センターの専用チラシスタンド設置、美術館連絡通路に展示ポスターを設置など、両施設の連携による情報提供体制の強化に努めた。</p> <p>④ iichiko総合文化センターと大分県立美術館共通を中心に県内の芸術文化に広く親んでもらうための「大分県芸術文化友の会びび」について会員拡大に取り組むとともに、様々な芸術文化関連情報の発信やチケット割引等各種サービスの提供を行った。</p> <p>⑤ iichiko総合文化センターで定期的に美術館への誘導を館内放送し、互いの施設の利用促進を図った。</p> <p>⑥ 両施設の駐車場について、片方が混雑した際の誘導を徹底し、効率的運営に努めた。</p> <p>⑦ 施設と駐車場の一体的利用の促進を図るため、センター練習室利用者、会議室、アトリウムプラザ、県民ギャラリーの利用者1名に駐車券1時間分を提供し、駐車場料金の負担軽減に努めた。</p> <p>⑧ iichikoグランシアタをはじめ、センター各施設において、休館日での利用希望に応じて臨時開館を行い(平成30年度実績:6件)、利用者のニーズに柔軟に対応することで、利用しやすい施設づくりに努めた。利用開始時間(9時)の事前延長、利用終了時間(22時)の事後延長を合わせて108回受け入れ、深夜に及ぶ公演、早朝から準備が必要な大規模大会等に対応し、施設利用者の利便性を一層高めた。</p> <p>⑨ 年中無休、夜も営業という美術館の特色を活かし、夜のギャラリートーク「夜な夜な美術館」を各企画展で開催。初めて美術館に来る方に親しみを感じてもらえるようガイドツアーを実施した。</p> <p>⑩ 遠隔手話通訳サービスシステムを美術館インフォメーションカウンターに設置。また、クレジットカード決済システムに加え、モバイル決済サービスも導入するなど幅広い利用に答えられる態勢を整えた。</p> <p>⑪ ミュージアムショップでは事業者と企画・開発を行ってきたオリジナル商品の販売を、カフェでは開催中の企画展と連携したメニューの提供を行なった。</p> <p>⑫ より美術館を楽しんでいただけるよう、美術館来館者に対して建物や展示物を紹介する、「OPAMサポーター館内ガイドツアー」を月曜日と木曜日に実施した。</p>
-------------	--

### 【国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭関連事業】

国民文化祭等の期間中、「過去・現在・未来」をテーマに、古を振り返り、故郷のすばらしさを再発見するとともに、子供たちの未来に夢をつなぐ事業を展開した。

- ① iichiko総合文化センターでは、オペラ「アイーダ」のほか、ミュージカル「マイ・フェア・レディ」を朝夏まなと、神田沙也加の豪華なダブルキャストに、大規模セットと迫力の生演奏オーケストラで上演した。また、「オーケストラと合唱の祭典」では、(1)青少年の部でiichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラとアルカスSASEBOジュニアオーケストラを中心に全国公募楽員を加え演奏したほか、(2)一般の部では大分と全国公募参加者のオーケストラと大分県合唱連盟で組織した合唱で、大曲であるマーラー作曲交響曲第2番「復活」を高らかに歌い上げた。
- ② 県立美術館では、東京国立博物館、京都国立近代美術館、宇宙航空研究開発機構及び海洋研究開発機構などの全面協力により、「国宝、日本の美をめぐる—東京国立博物館名品展—」「日本モダンの精華—京都国立近代美術館コレクション—」、「海と宙(そら)の未来展」や関連事業を実施し、国宝・重要文化財を含む優れた美術品とともに最先端の科学技術にふれあう機会を提供した。また、県内各地域の特徴的なアート事情を紹介する「おおいた美術散歩 OPAM & 豊の国」を開催した。

### 【芸術文化ゾーン】

- ① 8月に開催した「Tanavata Starlight Express 2018」では、iichiko総合文化センターアトリウムプラザや市内中心部商店街を会場として、アート・パフォーマンスなどが融合した事業を実施した。
- ② 12月に開催した「HEart of Christmas! 2018」では、県立美術館とiichiko総合文化センターを核とした「芸術文化の拠点」から、ネットワークづくりと賑わいづくりのため、商店街等と一体となって、アート、パフォーマンスなどが融合した事業を実施した。

### 【総合文化センター】

- ① オペラ、バレエ、オーケストラ、室内楽、ミュージカル、歌舞伎等の伝統芸能を柱とし、年間を通じて、幅広いジャンルに質の高い舞台公演を財団の企画により実施した。国民文化祭関連事業以外の取組として、幅広い愛好者を持つ吹奏楽と、室内楽ではチェンバロの巨匠・小林道夫、若手実力者ウェールズカルテットによるベートーヴェン弦楽四重奏曲を取り上げた。
- ② 結成10年目を迎える「iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ」の活動や9年目となったミュージカル体験ワークショップの開催などにより、芸術文化活動への参加と発表の場を充実させ、心豊かな人材を育成する事業を継続的に実施した。
- ③ 歌舞伎やオペラなど鑑賞が難しいと思われがちなジャンルについて、実演を交えてわかり易く解説するレクチャーを実施し、舞台芸術の愛好者を増やすことができた。
- ④ 「ARTS(音楽と美術)が生み出すキッズパーク」を合い言葉に、アトリウムプラザ全体を会場に「アトリウム遊園地」を実施し、親子連れが集まり、大盛況であった。ステージでは、ジュニアオーケの演奏やミュージカル体験、おおいた大茶会ステージなどが展開された。周りでは、手作りおもちゃコーナー(別大短大部)、ものづくり教室(大分大技術専修)、ピアノやヴァイオリンなどの楽器体験コーナー、美術館企画の「UFOツアー～宇宙の果てまで飛んでゆけ」にも、多くの人が詰めかけた。《国民文化祭100日前イベントとして実施》

### 【県立美術館】

- ① 県民が身近に国内外の優れた美術作品や自然史系展示等に接することができるよう、国民文化祭関連事業以外にも「改組新第4回日展大分展」や「アート&デザインの大茶会」「OPAMに恐竜がやってきた」など美術館独自の自主企画を含む多様な企画展を開催した。また、ワークショップや関連イベント、来館者プレゼントなど、常に楽しめる企画を実施した。
- ② 大分県立美術館で所蔵する約5千点の作品の中から選りすぐりの作品を、年間6期に分けたコレクション展を通じて紹介した。
- ③ 空気環境が安定し、来館者も多いゴールデンウィークに合わせ3日間ガラス水平折戸を開放し、開かれた美術館としてのPRを行った。また、カフェでは、各企画展と連携したメニュー提供等を行った。

### 【文化情報の発信・提供】

- ① 国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭期間中の特別企画及び「OASISひろば21」開館20周年記念事業の特別広報を行った。新聞・テレビ・ラジオ等を通じて、県内に加え、福岡県、宮崎県への情報発信のほか、大分駅ビル大型ビジョンや竹町商店街のモニター、大分空港、ホームページ、SNS等でも、紹介用動画による告知、韓国旅行会社に向けた告知用チラシの作成、配布等を行った。
- ② 大分空港2階に設置された「Sky Art Museum with OPAM 大分県立美術館」付近の壁上方4箇所、大分県立美術館を紹介する電照広告の掲出、展示ケース横に設置のデジタルサイネージにて展覧会情報の掲出、併せて、2階出発ロビー手前に設置のフォトフレームにて、大分県立美術館の展覧会情報とiichiko総合文化センターの公演事業の掲出を行った。
- ③ 財団機関誌、月間イベントカレンダー、ホームページ、メールマガジン、JR大分駅デジタルサイネージ、フェイスブック、ツイッター等により、芸術文化に関する情報を発信した。また、商店街と連携し、ポスターの掲示やチラシの配布等、広報活動に努めた。
- ④ 県公立文化施設協議会の会長館として、各施設の主催事業を取りまとめた「ホールナビ」を作成し、ホームページや新聞広告等を通じて県内外に情報発信を行った。
- ⑤ 総合文化センター、美術館に関する情報提供をマスコミに対して継続的に行った。

イベント等の充実

8. 管理に係る収支の状況

(単位：千円)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収入額(A)		794,580	767,769	792,783	780,522
内 訳	県からの委託料	452,367	454,465	454,179	447,611
	利用料金	337,242	307,973	333,289	327,160
	雑収入	4,971	5,331	5,315	5,751
支出額(B)		794,580	767,769	792,783	780,522
内 訳	人件費	212,869	206,973	199,870	200,126
	維持管理費	3,824	2,914	2,462	2,773
	事業費	552,807	532,802	565,371	552,543
	iichiko/パートナーシップ履行 事業費	24,000	24,000	24,000	24,000
	サービス改善提案事業費	1,080	1,080	1,080	1,080
	その他	0	0	0	0
収支差額(A-B)		0	0	0	0

9. 施設使用料等の収入状況

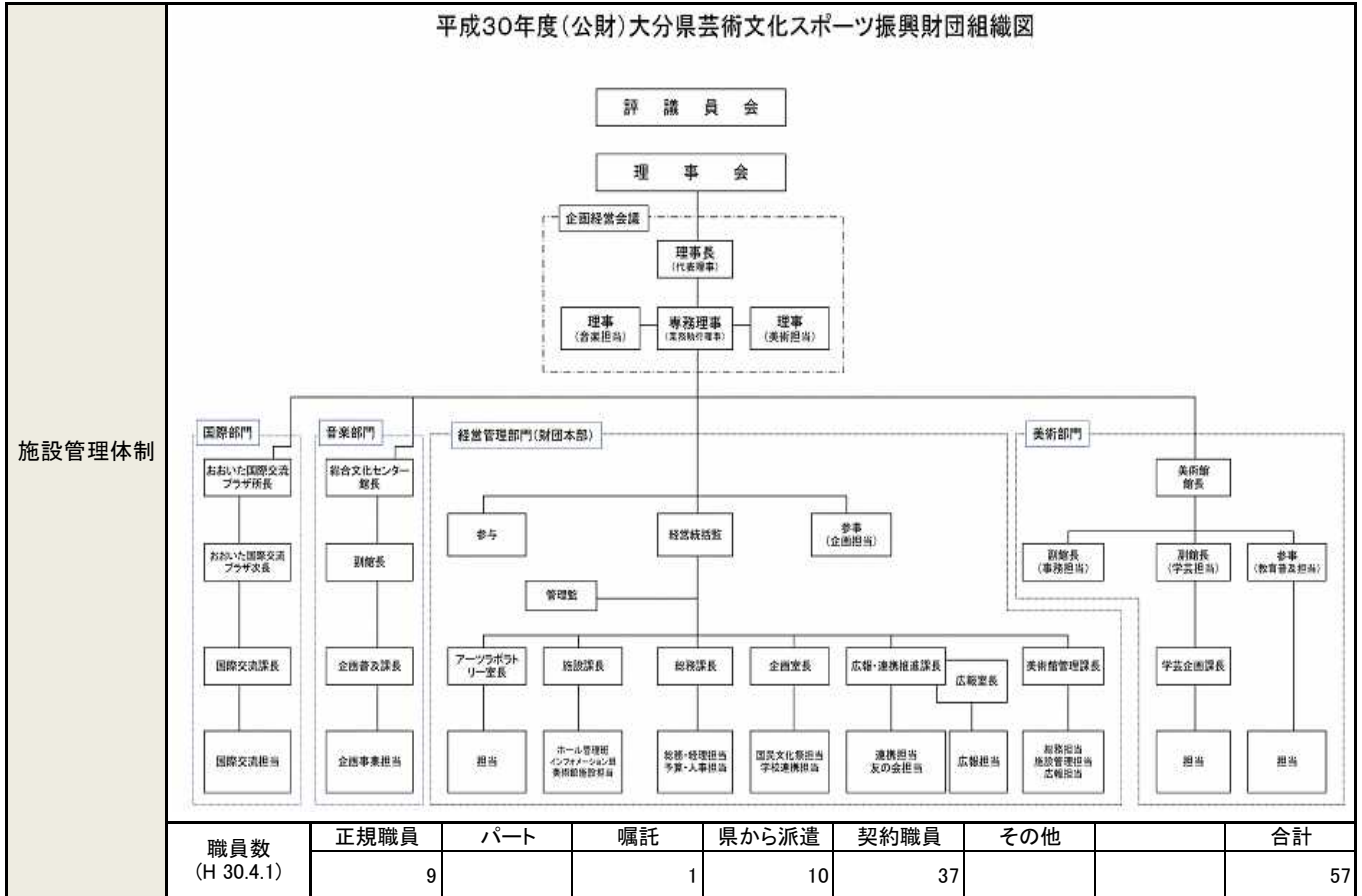
iichiko総合文化センター

利用料金(千円)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成27年度	31,549	21,983	25,387	24,568	22,334	19,826	
	平成28年度	27,326	16,613	21,971	21,317	23,136	19,705	
	平成29年度	34,125	23,475	20,365	22,470	20,170	23,210	
	<b>平成30年度</b>	<b>32,676</b>	<b>20,121</b>	<b>19,208</b>	<b>26,448</b>	<b>20,415</b>	<b>20,705</b>	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成27年度	23,709	21,674	19,806	19,130	15,208	24,120	269,294
	平成28年度	26,673	22,626	19,122	20,282	12,505	23,797	255,073
	平成29年度	20,723	21,731	21,542	17,858	18,033	24,997	268,699
	<b>平成30年度</b>	<b>20,334</b>	<b>30,417</b>	<b>23,457</b>	<b>19,038</b>	<b>15,090</b>	<b>22,570</b>	<b>270,479</b>

大分県立美術館

利用料金(千円)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成27年度	2,082	4,767	4,622	4,406	8,504	15,653	
	平成28年度	3,968	1,529	6,346	2,422	1,733	2,902	
	平成29年度	7,771	2,894	2,034	9,321	11,685	3,449	
	<b>平成30年度</b>	<b>6,963</b>	<b>2,313</b>	<b>1,846</b>	<b>2,491</b>	<b>8,886</b>	<b>5,237</b>	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成27年度	7,108	2,476	1,936	1,898	9,828	4,668	67,948
	平成28年度	9,158	3,101	3,351	3,508	9,127	5,756	52,901
	平成29年度	8,613	2,162	2,743	3,201	6,322	4,395	64,590
	<b>平成30年度</b>	<b>3,499</b>	<b>3,650</b>	<b>3,087</b>	<b>3,598</b>	<b>9,301</b>	<b>5,810</b>	<b>56,681</b>

10. 指定管理者の管理体制



11. 適正な管理運営に係る主な取組内容

職員の資質・能力の向上	<p>① 「全国公立文化施設協会研究大会」や「業務マネジメントセミナー」、「九州地域アートマネジメントセミナー」、「九州地域技術職員研修会」に職員が積極的に参加し、これからの文化施設の在り方や施設の円滑な運営を行うためのノウハウ等を学んだ。</p> <p>② iichiko総合文化センターのemoスタッフと美術館のOPAMサポーターが合同で利用者への接遇技術向上を目的とする研修会を実施した。また、emoスタッフは、新人研修として災害対応や障害者対応の基礎を学び、OPAMサポーターは、定期的にコレクションや美術館業務に関する研修を実施した。</p> <p>③ 大分県公立美術館・博物館職員を対象とした研修会を開催し、美術館における広報の役割やボランティアの活用のあるり方、誰もが楽しめる博物館(ユニバーサル・ミュージアム)について学んだ。</p>
防災に関する研修・訓練	<p>防災意識の醸成及び迅速な初動体制確保を目的に、地震・火災を想定した防災訓練をiichiko総合文化センターは2回(9月、12月)、県立美術館は1回(9月)実施した。iichiko総合文化センターでは国民文化祭開催に先立ち、県と協働して演奏会を開催した上で訓練を行う「避難訓練コンサート」を9月に実施。演奏中に地震・火災が起こることを想定したうえ、主催者である県国民文化祭局と共にお客さま役として参加したボランティアスタッフやOASISひろばテナント職員約30名の避難誘導を行うなど、より実態に近い訓練を行った。</p>
安全対策等	<p>【iichiko総合文化センター】</p> <p>① エレベーターや舞台設備など専門性を有する部分については、業者による定期点検を実施し、異常箇所があれば即座に連絡を取り合う体制を確立できた。</p> <p>② 公演中の停電や機器の不具合発生など不測の事故発生を防止するため、施設・機器の利用前後の点検を実施し、施設利用者や来場者の安全対策に万全を期した。</p> <p>③ 施設の計画的・効率的な維持補修のため、県施設整備課と連携して大規模改修計画を作成して計画的な修繕等を行った。</p> <p>④ OASISひろば21の統括管理者である(株)エフ・ティー・シー大分と催事情報の共有等を図るとともに、適時、共同で施設巡回を実施し、異常箇所がないか確認を行い、異常な箇所が発見されたときは速やかに対応した。</p> <p>【県立美術館】</p> <p>① 警備、清掃、設備保守の委託業者決定後、定期的に連絡会議を開催し、美術館の開館に向け情報共有を図るとともに、館内の安全対策等について意見交換を行い、開館後の施設の管理運営体制を整備した。</p> <p>② 4年目の瑕疵検査を県施設整備課、設計者、建築施工業者立ち会いで実施した。検査の結果、瑕疵が認められた事案については改善を行なった。今後も不具合箇所については、設備をはじめとした第三者委託業者と連携し、情報共有しながら改善要求を行う。</p>